



# 無所属クラブ 旧統一教会関連事業の 「市後援」取消しを求める

岐阜市議会無所属クラブは、10月24日、柴橋市長に対し、旧統一教会関連団体の事業3件に関し『岐阜市後援の取り消し』を求めて申し入れを行いました。

すでに、旧統一教会関連の講演会「岐阜を元気にする会」（5月1日）等への「岐阜市後援」承認の経過について新聞報道が多数ありました。9月議会では、松原のりかずが、後援申請の「虚偽の疑い」や「申請遅延理由書の不適切」等を指摘し、本会議質問を行いました。申し入れ内容は、調査と質問で明らかになってきた3点。

- 1 旧統一教会の関連団体に係る3事業への「岐阜市後援承認取り消し」等の申し入れ
- 2 「岐阜市後援名義の使用承認及び岐阜市長賞の交付」等に関する申し入れ
- 3 靈感商法など悪質商法被害防止専用窓口設置について（要望）

## 「申請書（後援）の虚偽」の再点検を！

上記1では、後援申請書に虚偽記載の疑い（申請者の住所に、申請者が住んでいない。別人宅等。）が指摘されています。再点検で「虚偽」判明ならば、「後援取り消し」し、「取り消しを市民に明らかにすること」等申し入れました。

## 申請の団体規約「真っ黒け」の改善を

上記2では、申請書の添付書類である団体規約のほとんどが、記録塗りつぶされて、判読できない実態。「市後援承認」を許せる団体であるか？ 判断できません。議会で確認出来るために『全面公開』等を求めました。『事務所を岐阜市に置く』など不明確な規約を良としている岐阜市の姿勢改善等を求めました。

## 靈感商法等の防止窓口 県と連携し！

上記3では、旧統一教会による靈感商法など悪質商法の被害を未然に防ぐために、県が設置した専用窓口については、10月25日に被害者問題連絡会議に関する報道がされています。県民5人に1人は岐阜市民であり、岐阜市も県と連携する「被害防止専用窓口」の設置をされるよう要望しました。

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 電話253-2500

## 和田 市議への **市長村度？** を質問 松原のりかず

講演会「岐阜を元気にする会」への岐阜市後援承認には、不透明な事が多々存在します。和田市議は、「岐阜を元気にする会の顧問」で申請書類に添付した規約に明記されています。「申請要綱〆切を、はるか10日間も過ぎた書類を受付け、遅延書類を市役所自ら作成し、むりむり後援（市民指摘）した。その「村度の原因」には、岐阜を元気にする会 の顧問に **和田直也 市議** の名前があるためですか？」（9月16日・松原のりかず本会議質問）には、残念ながら正面からの柴橋市長答弁はありませんでした。

## 知らないうちに「顧問に」なっていた（和田市議 HP）

松原のりかず 9月議会本会議質問以降の

?????!

10月19日、岐阜市議会議事調査課から頂いた資料によれば、和田直也 岐阜市議会議員のホームページに「顧問就任については承知しておらず、顧問就任に関する書面も持ち合わせていないことを当該団体にお伝えしています。」（10月15日）と、記載されていることが判明しました。

今、松原のりかず市政報告の原稿は『山際経済再生相 更迭』報道の日に書いています。団体の顧問になるのに「本人の知らない」うちに顧問にする団体（岐阜を元気にする会）とは、いったい、どのような団体なのでしょう？

また、この上記の和田市議ホームページ文書は「承知しておらず」と記載されていますが、「抗議して辞めた」とは記載されていない事。読み方に注意が必要かとも思います。

## 松原のりかず

### **学校給食の無償化** を求め、**決算に反対** **本会議討論**

学校給食の無償化については、その法的根拠について教育委員会自身が認め、財政的根拠については、毎年の岐阜市予算で不用額が100～80億円存在し、その約1割が教育予算である事実。今、決算でもいえる事です。他の教育に財政活用したいとの言い訳には、タブレット購入に補助金（国予算）を活用しない矛盾を指摘されます。

学校給食無償化の実施実態が、毎年、全国で拡大し、県内も岐阜市隣接の岐南町、山県市をはじめ拡大しています。・・・学校給食無償化を実行しない事は、柴橋市政のスローガンの「こどもファースト」が「スローガン倒れ」と批判されます。学校給食の無償化に半歩も踏み込めない決算は、認められません。（松原のりかず 本会議討論・9月27日）



松原のりかず

☎058-253-2500